

あるま めーと



愛・母（フランス語）≡三愛精神の母校が絆きずな

酪農学園同窓会関東甲信越地区会報

発行者 酪農学園同窓会関東甲信越地区
(仮本部)

〒277-0945 千葉県柏市しいの木台 3-17-8

電話 047-385-7121

発行責任者 関東甲信越地区会長 岡田 勉

地区会長挨拶



関東甲信越地区
会長 岡田 勉(酪農2期)

去年は、令和元年、心新たまる
思いです。

平成は 1998 年昭和天皇ご崩御
をメルボルンで迎え、献花の儀を総領事館で行
いました。

平成天皇が上皇になられ、皇太子が令和天皇
になられたので、5月4日の皇居祝典に参賀し
ました。良い年号になりますように！

去年はドバイ、パラオへ行ってきました。い
ずれも素晴らしい環境ですが、世界地図から見
ると、中国の一带一路の手が確実に伸び、軍事
の匂いがしました。(アラブも亀裂の匂い)

ヨーロッパとの EPA、アメリカとの FTP によ
り、日本の酪農も大型化、高付加価値の方向モ
メントに合わせていくでしょう。

有機 JAS 食品の判定を行っていますが、「有
機栽培、EM 栽培、自然栽培」の区別、「遺伝子
組み換えとゲノム編集」の区別がわからなくな
ってきている。例：(遺伝子組み換え大豆、ゲノ
ム編集大豆)

一方、少子化と人口減少の中、生き延びてい
くには、経験したことの無い次元に向かおうと
しています。こうした中で日本の農業の輸出は
伸びている。世界を見ながら自分の立ち位置を
考え、営農していく必要がある。こうした営農
に役立つ学問の研鑽をしていきたいものです。

関東甲信越、茨城支部では「黄門さん踊り」、
東京支部では「マンドリン演奏会鑑賞」、神奈川
支部では「豪華なホテルで宿泊、懇親会」、埼玉
支部では「組織活性化」で長野支部と「ハムと
味噌と上田城の勉強」、新潟支部では「千葉支部、
神奈川支部との交流」など、地域、地区間の交
流が広がっています。集い、学びあい、高め会
う、行動を起こし、酪農学園の特殊な強さを継
続し、存在感を高めていきましょう。

ハーバード大、MTI 大、慶応大、早稲田大な
どは世界のあらゆるところで、同好会、同研究
室会のようなアマルナイ（同窓の絆）がありま
す。去年はラグビーワールドカップです、あち
こちでアマルナイを楽しんでいる光景が見ら
れます。酪農学園を卒業した同志も気軽に絆と
して、アマルナイしたいところです。関東甲信
越地区の支部総会は5月からスタートしていま
す。今年もさらに活動が活発化し、発展してい
く事を願っています。

◆ 緊急報告 ◆

“酪農学園東京オフィス移転！”

関東甲信越地区会長 岡田 勉
酪農学園では、有楽町の東京オフィスを12月31
日付で閉鎖しましたのでお知らせします。

最近、賃料の大幅アップの要請があり、理事会にて
鋭意検討した結果、費用対効果を考えて現在地を
閉鎖し、新しい適地を探索することです。適当
な良い場所がありましたらご一報ください。

なお、同窓会としても当面の活動拠点を別途探索
しております。こちらも情報提供していただけれ
ばありがたいです。 (2019年11月記)

酪農学園同窓会と酪農讃歌



酪農学園同窓会

会長 小山久一

同窓生の皆様におかれましては各分野において、さぞご活躍のことと思われま

す。また、関東甲信越地区の同窓生を結ぶ絆ともなる「あるまめーと26号」の発刊、誠におめでとうございます。しかし今回の台風19号を思う時、その影響の甚大さに心が痛みます。被害を受けた同窓生の皆様には心から深くお見舞いを申しあげる次第であります。

さて、私が全国の地区・支部（以後同窓会）の総会・懇親会に出席したとき、会の最後に歌うのは表題にある「酪農讃歌」です。一同輪になり肩を組んで声高らかに歌っている様子は実にほほえましく頼もしくさえ思われるのであります。ここでは「酪農讃歌」にある「乳房もつ神、我とともに」について説明したいと思ひます。この歌の作曲者賀川純基氏は酪農学園に来て講演したとき「乳房もつ神は乳と蜜の流れる郷里カナンで神様は乳と蜜で民を養われるから来ており、母のような神、神の愛と恵みをあらわしている」と説明してくれました。私はその話を聞いてから「神の愛と乳と蜜」の大切さを意識しながら「酪農讃歌」を歌えるようになりました。

歌詞の説明にあった「乳」についてであります。最近の新聞に学術雑誌『Nature』の論文としてヨーロッパ先史時代から出土した古代の小さな吸い口のついた土器の用途について、「中に付着していた動物の乳の成分から解明された」と載っていました。また土器の小さな吹き出し口は赤ん坊が吸い付けるようになっていたことから「哺乳瓶として使われていた」ことが分つたというものであります。さらに私の興味を引いたのは、この哺乳瓶を使うこと

によって赤ん坊の生存率が向上し、先史時代のヨーロッパにおける人口増加につながったと載っていたことでもあります。

これを読んで思い出したのは酪農学園の元学園長をされた原田勇先生の「アジアにおける人口増加は稲作にあり」との話でした。以来、人口増加はアジアだけかと思っていましたが、ヨーロッパ先史時代においても、その要となったのは動物（ウシやヤギ）の乳と土器製の哺乳瓶であったとは思ひませんでした。まさに「酪農讃歌」の「乳房もつ神」に通じることを実感した次第であります。

このように「酪農讃歌」は人々の命を支える歌であるとともに、それに携わる我々の使命を歌ったものとして今後も声高らかに歌い続けたいものであります。



財団法人 自然農法国際研究開発センター		酪農2期
判定員	おかだ つとむ 岡田 勉	
〒277-0945 千葉県柏市しいの木台3-17-8 TEL: 047-385-7121		
JAS 自然農法センター	〒413-0011 静岡県熱海市田原本町9番1号 熱海第一ビル8F Tel: 0557-85-2001/Fax: 81-0723 URL: http://www.info.or.jp	事務所

公益社団法人	日本獣医師会	獣医4期
顧問 獣医学博士	北村 直人	
衆議院前議員(昭和61年～平成17年)		
〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館23階 電話 03(3475)1601(代) FAX 03(3475)1604 携帯 090(308)0196 E-mail kitamura.n@mopera.net		

東京都民美術展運営会	短大6期
評議員	野田 修平
〒164-0012 東京都中野区本町一丁目5-5-1 301 TEL・FAX 03(3374)7778	

大学・附属高校の現況について



学校法人酪農学園
常務理事 石島 力

皆さん、初めまして。私は、祖父が獣医師であった影響もあり、昭和51年に本学の獣医学科(13期生)に入学し、沼田先生(外科学)の教室に所属しながら楽しく学園生活を送ることができました。

当時、外科の教室に居ましたが、何故か生産動物の臨床を選択せずに、父と同じ道職員の道を選び、道内各地を転勤し、多くの方々に出会い、お世話になりながら早期退職し、2017年4月から副学長を経験させて頂き、2019年7月1日からは常務理事という立場で仕事をさせて頂いております。今後とも、宜しくお願いいたします。

さて、全国的な問題である少子化による入学者の減少は、本学園(大学、高校)においても、その影響は、如実に現れてきており、2019年度、大学では755名(昨年度:769名)、附属高校では、261名(昨年度:278名)の入学者実績となっており、年々減少傾向が続いています。

このような時こそ、今一度、原点に戻り「私学の気概」という意味を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

特に学生や生徒には知識量だけではなく、一歩前に踏み出す勇気を持つ実践力を持った人材、いわゆる学園の強みである『実学教育』の実践が重要だと思っています。

現在、獣医学群が中心となって国際認証制度を活用し、欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)による国際認証の取得を目指しています。

高校では、2019年4月から校名を「酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校」に変更するとともに、今春、通信制としては、全国初の農業学科(農食環境科学科)を開設する予定となっています。

私は、他の大学や高校にない様々な魅力を大いに発信できる先生や学生方が集う「伸びしろのある学園」だと思いますので、まずは、地域の課題に目を向け学園の教育・研究の特性を生かした戦略とブランド力を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

これからも卒業生の皆様や関係各位におかれましては、引き続き、ご支援、ご指導等賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

国選択無形民俗文化財

脚折雨乞行事は令和2年9月13日実施

保存会 委員 後藤 久雄

機農 農経1期

KVS CO.LTD今井家畜診療所
児玉家畜ETセンター

獣医5期

代表 今井 賢太郎

〒367-0253 埼玉県本庄市児玉町河内858-1

Tel:0495-78-0241 fax:0495-78-0509

- 和牛体内受精卵の生産・販売(宅配可)
- 牛体内受精卵の出産採卵(北関東のみ)

酪農学園同窓会関東甲信越地区
埼玉県支部

酪農12期

支部長 廣 間 善 之

〒344-0062

埼玉県春日部市粕壁東4-6-10

TEL・FAX 048-754-6347

太田屋牧場

酪農19期

太田屋 進

〒351-0033

埼玉県朝霞市浜崎390-27

tel&fax 048-456-1852

Email ootayafarm@yahoo.co.jp

酪農学園関東同窓会はじめの頃



地区顧問

戸水 雅智

(機農高校8期
短大3期)

1、酪農学園東京事務所の開設

1948年4月(昭和23年)野幌機農高校に通信制「酪農科」を併設、同年8月野幌高等酪農学校(通信制による酪農科、家庭科)を開設、同校生徒の副教材として、月刊誌「酪農の学校」を創刊、その後「近代酪農」「酪農ジャーナル」と繋がり、これら教材に掲載する原稿依頼や執筆・取材、広告斡旋等に係る業務に加え、関東以南・以西への販売・普及に努めることが、主たる目的とされていた。

1955年(昭和30年) 東京事務所は東京都中央区日本橋江戸橋1-15 雪印乳業(株)東京支社内に、学校評議員の石亀繁太郎氏を所長、前井礼二氏(機農校2期)を事務員に2人で発足、後に「近代酪農」の専従として香味 昭氏(短大創期)が加わり、事務所長は石亀繁太郎氏、前井礼二氏、天田輝久氏、須田利明氏、高澤 靖氏と引き継がれ今日に至る。

事務所は、1965年(昭和40年)雪印乳業東京本社ビル新築に伴い、新宿区若葉町の丸福ビル(須賀神社の傍)に転居を余儀なくされたが、ビル1階の奥まった暗い感じの一般的家庭の間取りで、使い勝手も悪く、事務所らしからぬ部屋だった。

その後、天田氏(明大)が月刊誌に加わり、編集に携わっておられたが、氏は後任事務所長として広く尽力された。

学園理事者が上京の折、天田所長は東京事務所の多様な業務内容、入試の問い合わせや就職斡旋等、対応出来ない側面と来客に恥じない事務所移転の必要性を、また会社に年末年始の挨拶

に立ち寄られた理事長、常務理事の問いに事務所移転が望ましいと伝えていた。

1996年(平成8年)の夏、事務所移転の話が進み、天田所長と2人で新橋・西新橋界隈を中心に物件を物色、候補案として上申予定のところ、菊地常務理事(当時)が上京、「北海道拓殖銀行虎ノ門支店6階」(その後4階に移転)の話が出て、32年間住み慣れた丸福ビルを後にした。

2、関東同窓会発足時と反省の上で

1974年4月(昭和49年)東京都新宿区筑土八幡町36に所在した雪印乳業健康保険組合東京会館で催された総会で、会長古田修吾氏(短大創期)、事務局長中西文雄氏(健康保険組合常務理事・酪農義塾1期)が選任され、実務面は香味 昭氏に委ねられた。

1990年(平成2年)に後任会長や組織の在り方、会運営の対応等困惑していた矢先、幸いにも雪印乳業営業畑で九州から関東に戻られた志賀文夫氏(短大1期)に相談出来、会長に八重樫鉄男氏(日本テトラパック社長・短大1期)、事務局長に志賀文夫氏(短大1期)、補佐に自分(短大3期・機農高8期)が就任した。

総会に出席された遊佐理事長は「酪農義塾・機農校(機農高校)・酪農学校(通信教育)・女子高校(三愛女子・とわの森)・短大・大学を含めて」、【卒業生は大同団結】し、共同体となって地域・学園の発展に寄与して欲しいとのスピーチに出席者は共鳴、活動も本格化し、各県在住の主だった同窓生の協力を得て、支部創設に奔走願い、今日的支部活動がなされるようになった。

早速、会報の発刊を決め、刊名を会長の発案で「あるまめーと」に決定、天田所長の紹介で、編集に実務経験豊富な志村智子氏(短大33期)に依頼、佐々木六朗氏も加わって初刊を発刊、その後、毎号充実した内容で、今日に繋がっていることは同慶の至りである。

1992年3月(平成4年)、志賀事務局長は定年を機に札幌に移住されることになり、後任事務局長として、私が同年4月から2002年(平成14年)の総会まで務めさせて頂いた。

八重樫会長のもと志賀文夫事務局長、阿部英八郎(短大1期)・藤村 翼(大学酪2期)・斎藤 洋(大学農経5期)・唐仁原景昭(大学獣2期)・増田澄夫(大学酪5期)・小浦隆文(大学酪13期)・小宮俱子(大学獣1期)・佐々木六朗(短大11期)・水谷 淳(大学酪4期)・戸島博昭(大学獣2期)・奥野 誠(大学酪1期)・五十嵐健夫(大学農経3期)の各氏等の出席と天田所長、亡くなられた方も多く改めてお礼と心よりご冥福をお祈りする。

当初、京王デパート食堂街の店だった会場も、その後、東京事務所に近い四谷界隈の静寂な居酒屋を選び会場とし、上記面々には都度お集まり願い、広く語り合っていた。

会が始動して11年目、2001年(平成13年)の暮れ、八重樫会長から日本テトラパック社の役員を退くと同時に、岩手県奥中山に移住し牛飼いを始めたい。会の役をそのままでは迷惑をかけるので、退任させて欲しいと申し出があって、受理され後任に、2002年2月(平成14年)、3代目会長に奥野 誠氏(大学酪1期)が就任した。しかし、会長に予期せぬ病魔が襲い帰らぬ人になられた、僅3年の短い期間だったが、会再スタート以来の土を耕し前任会長の路線を継承、尽力された姿を思い心よりご冥福をお祈りする。

その後、会長は野田修平氏(短大6期)、南雲良三氏(短大8期、2019年7月ご逝去)、岡田 勉氏(大学酪2期)へと引き継がれ、関東同窓会から酪農学園同窓会関東甲信越地区に改組・改称、同窓会本部自体も変貌し、多くの同窓生の期待に応えようとされている。

3、東京事務所の廃止問題と対応

天田所長より内々の話として伺っていたが、2000年12月(平成12年)、酪農学園高橋節郎副理事長(短大1期)が上京、東京事務所に八重樫会長と自分が呼び出され(事務所に退室を指示)、その席で、東京事務所は費用が掛かり過ぎて合理化(廃止)が急務と、一方的な説明に終始し驚いた。

会は、翌年1月伊東市で催した拡大役員会に緊急提案、書面で理事長宛に請願することになったが、ことの重大さを考慮し、日帰りでも八重樫会長と2人で酪農学園を訪問、平尾理事長に、先の関東同窓会拡大役員会の決議要旨と事務所の存続を要請した。

しかし、追って返答する旨の返事だけで、その後、学園理事会当日の朝、自宅に本日の議題にはしない旨の電話を受け、本件は落着いた。今となっては思い出として脳裏に残る出来事だった。

酪農学園同窓会関東甲信越地区
長野県支部

獣医5期

支部長 田 中 清 司

〒390-0806

長野県松本市女鳥羽3-3-31

TEL 0263-33-8814

酪農学園同窓会関東甲信越地区
山梨県支部

獣医7期

支部長 平 島 勝 教

〒408-0041

山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3331-166

TEL 0551-36-5078



富士食品工業株式会社

取締役生産部長

酪農22期

渡 辺 仁

Hitooshi Watanabe

http://www.fujiyoku.co.jp

ISO22000/FSSC22000

山梨県山梨市種馬場170

TEL 0553-22-2611(代)

FAX 0553-22-4125

E-mail h-watanabe@fujiyoku.co.jp

「獣医師の仕事」

もりと動物病院 地区理事：白樺会会長
院長 渡邊 守都(獣医14期)

昭和の時代、犬に服を着せるのは雨の日のレインコートと相場は決まっていた。しかし最近では道行く犬達の多くはお洒落な服を着ている。猫砂・ペットシート同様犬の服も市民権を得たのだろうか。冬の寒い時期はまだ解らないでも無いが、自身は涼しげな服を着ながら連れている犬に服を着せている飼い主には理解に苦しむ。しかもカットはサマーカット！

時は飽食の時代、愛犬の誕生日に食べさせる特性ケーキが売られている。材料は吟味されているので食べても安全とのこと、しかし犬はどう理解するのだろうか。特別な日だけならまだしも、日々の食餌でも食後のフルーツを美味しく頂くのが日課なのだとか。秋には巨峰も・・・！？

衣・食ときたら住。曰く「ペットヒーターを入れて羽毛の掛け布団を掛けてあげているけれど途中で出て行ってしまいます。何故でしょう。」・・・！

これらの衣食住の話を単なる笑い話と片付けてはならない。なぜなら、このような動物への無理解によるトラブルで来院される方は多く、その大半の方々はまじめに動物を飼っておられるからだ。20年以上前の事だが、3才位の男の子が「おじちゃん、壊れちゃった」と言ってなけなしの500円玉を握ってカブトムシを連れて来た。この時の瞬間接着剤を使った処置は、処置後の男の子の満足げな表情と帰宅後のご家庭からのご報告から、今でも私の中でかなり印象深いものである。幼少期のこのような生き物に対する純粋な気持ちが正しく育っていれば前述の衣食住の間違えには繋がらないのでは無からうか。

我々獣医師の仕事ではともすれば知識や技術を高める事が偏重されがちであるが、それは動物が正しく管理される事が前提でありこの事が無ければ期待される結果が得られない事は言うまでも無い。換言すれば我々の仕事は飼い主の管理能力に支えられている事になるが、この能力を理解・向上させるための指導こそ

我々臨床獣医師の最も重要な仕事と考えられる。開業以来一貫した思いで仕事を続けてきた私にとって冒頭の衣食住の話は看過する事ができない事であるが、さて皆さんはどうお考えだろうか。

SHINJUKU VETERINARY CLINIC **獣医18期**
新宿動物病院
 院長 **高橋 恒彦**
 本 院：〒160-0022 東京都新宿区新宿7-11-5 1F 2F HOUSE 2F
 TEL 03-5272-1323 (代) FAX 03-5272-1878
 豊島分院：〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-25-11 ZASIF
 TEL 03-5926-8181 (代) FAX 03-5926-5189
 URL: <http://www.shinjuku-veterinary.co.jp>
 E-mail: takahashi@shinjuku-veterinary.co.jp

ケペル動物病院 **獣医15期**
 院長 **大橋 透**
 獣医師 **大橋 透**
 〒165-0027 東京都中野区野方6-6-2
 tel. 03-3338-3554

機農農経1期
須田 利明
 〒120-0015
 東京都足立区足立三丁目13-11-1011
 TEL & FAX 03-3840-1540

酪農学園同窓会関東甲信越地区
 東京都支部 **獣医3期**
 支部長 **福山 二仁**
 〒135-0016
 東京都江東区東陽二丁目3-6-918
 TEL 03-6904-8995

(公財)新潟県生活衛生営業指導センター **獣医18期**
 新潟県生活衛生同業組合連合会
 専務理事 **北原 良一**
 〒951-8106 新潟県新潟市中央区東大塚通1番町490番13
 新潟県理容美容福祉会館2階
 TEL (025) 378-2540 FAX (025) 378-2545
 URL <http://seiei-niigata.jp/>

私の趣味



東京都支部事務局長
福田 豊 (農経23期)

今回、編集委員会より表題の内容にて寄稿とのご依頼を受けました。おそらく今隆盛のSNS等で私が趣味的部分の発信をしていること、また内容の奇抜なことより指名を受けた様子です。さて歳とともに趣味趣向が変化をしていくわけですが自分のなかで一番の長続きをしている趣味は「写真撮影」でしょうか？幼少の頃、母親のカメラを触らせて貰って以来続いています。本校在学時も近隣農家へのアルバイト、地方への実習の際には必ずカメラを積んで行き、夏冬の実習終了後はそのまま層雲峡や函館の写真館にて泊り込みで観光写真を撮る生活をしている学業疎かな不良生徒でした。また、もう1つの、幼少時より鉄道にも興味はありました。が当時は思春期で暗い？趣

味として伏せているうちに気持ちは離れて、被写体としてカメラを向けて居りませんでした。卒業間際は国鉄終焉の騒ぎ、ローカル線廃止等の事象で鉄道ファン達が最後の記録に勤しむ真っ只中にも関わらず、全くカメラを向けておりませんでした。今でこそまた鉄道を被写体としていますが、以前から本校前の国道12号線に沿って走る函館本線が名撮影地であったことなど知り、誠に勿体無いことを致しました。そして現在も趣味での撮影活動は行っておりますが最近「作品展示」の行為も始めました。今まで展示という行為、雲の上の行いであった感覚が、最近では一般による集合展示やSNSの普及にて「見せる、発信する」風潮も助長したのでしょうか。しかし展示に関しては自己満足の世界を他人様に見て頂くのですが、やはり辛辣な評価などを想像してしまい、毎回冷や冷やながら出しています。が、それを超えて集まりを基としての同好の志の輪も広がりました。お金は掛かりますが(笑)贅沢に趣味が行える環境に居られることは感謝の次第です。

酪農学園同窓会関東甲信越地区
栃木県支部

酪農4期

事務局長 齊藤 達夫
〒321-0404
栃木県宇都宮市芦沼町 2762
TEL: 028-674-2119

酪農学園同窓会関東甲信越地区
群馬県支部

短大20期

支部長 小林 一太

〒378-0323
群馬県沼田市利根町大原1233
TEL 0278-56-3373

酪農学園同窓会関東甲信越地区
栃木県支部

酪農1期

支部長 益子 勲

〒321-0135 宇都宮市五代三丁目5-43
tel. 028-653-9762

酪農学園同窓会関東甲信越地区 副会長
群馬県支部 理事

短大16期

大津 初司

〒377-0702
群馬県吾妻郡高山村中山 922
電話 0279-63-3253

酪農学園同窓会関東甲信越地区
茨城県支部

獣医4期

支部長 根本 久美子

〒310-0022
茨城県水戸市梅香1-2-25-602
TEL 029-226-3006

酪農学園同窓会関東甲信越地区
千葉県支部

獣医11期

支部長 鈴木 邦夫

〒286-0805
千葉県成田市南羽鳥1972
TEL 0476-37-0483

南雲良三前同窓会関東甲信越地区会長
を偲んで同窓会関東甲信越地区総会・交流会報告
&
東京2020を無料で観戦する裏技！地区理事：埼玉県支部顧問
佐々木 六朗（短大11期）

南（なん）ちゃんこと南雲良三（満81歳）さんが令和元年7月29日逝去されました。脳梗塞が再発し、5年間の闘病、同窓会にとって南雲節が遠のきまことに残念です。

埼玉県支部立ち上げに尽力

平成8年5月、90余名集い埼玉県支部が創立され、初代会長に。当初、同窓会は「サロン」として歩むべき、というのが口癖でした。思い出に残る行事に一泊のキャンプで、自前のカレーライスを振る舞うなどお祭り好き、老若男女家族で賑わいました。

平成20年3月、野田修平元会長の後を受け、第5代目関東甲信越地区会長に。関東がリーダーシップを執り全国に提言できるような活動をめざし、女性の参画が多い同窓会でありたい。また、他支部と共催の総会や創立35周年記念総会を埼玉県支部と共催。



故南雲良三氏

世話好き、信望厚く。

一方、プライベートの面（顔）を覗くと、地域での信望が厚く、自治会長の傍らママさんバドミントンの指導者として慕われ、顔の広さは半端ではなかったようです。野菜づくりは玄人はだしで、新宿の北海道料理店主いわく、“重宝しましたよ”。この陰には同窓酪農家からの牛フン堆肥の協力が大きい。道産子だけに、サッポロビール党。カラオケ上手で酔いがまわると、ねじり鉢巻き、絶妙な腰つかい、マイクを渡してくれないことたびたびでした。

等等筆舌に表しがたい南ちゃん、さようなら。

合掌



アベベが甲州街道を国立競技場に向かって激走する、ローマオリンピックでは裸足の王様であったが東京オリンピック1964年ではシューズを履いている。

全く余裕だ、数分後円谷選手が来た「円谷頑張れ！」幡代小学校5年生だった私と同級生達は校庭の横を駆け抜ける選手たちを応援したのだ。

円谷選手は必死の形相でアベベを追走するが直ぐ後方からヒートリー選手が迫ってくる。ゴールまであと少し、がんばれ～がんばれ～出る限りの声で応援。

数分後トップでゴールしたアベベはなんと軽くジョッキングをしたあと整理運動までしている、余裕しゃくしゃくだ。こいつ化け物か？ 二番手で円谷が国立競技場に帰ってきた、がもう力がない苦しそうだ、「円谷頑張ってくれ～」がヒートリーにあっという間に追い抜かれて結局銅メダル獲得。皆で円谷選手の健闘を称えた。

今年はTOKYO2020夏季2度目のオリンピックだ！

冬季も入れると4度のオリンピック開催は国別の回数ではアメリカ、フランスに次いで世界で3番目に多い国ということになる。

なんと幸せなことだろう、日本人に生まれてきたこと、健康で自国でまたオリンピック観戦ができること。

改めて考えてみると幸せになるには人それぞれいくつかの理由がある、酪農学園で学んだ時期は間違いなくそのうちの大きな理由だと皆思っている。

酪農学園に恩返しをしたい。

2019年6月7日8日の酪農学園関東甲信越地区同窓会総会、交流会は神奈川県支部と合同で行った。



交流会はエクスブ箱根離宮、小田原駅で待ち合わせて登山電車での現地入りとなり大変であったが旅行気分を満喫した。交流会



は地元、神奈川県支部役員大山哲生氏から紹介の「森メシ」小田原漁港の地魚、地酒は絶品であった。

翌日は神奈川県支部の会員である石田牧場の見学。全国の若手酪農家の最先端である。畜産業の専門家たちが畜舎の悪臭のないことに一同驚愕であった。

午後より伊勢原商工会で総会を開催し、酪農学園本部より竹花一成学長、同窓会から小山久一会長、浦川利幸事務局局長ご臨席を賜り学園本部の近況を報告いただいた。



特別講演では大山哲生氏から小田原城

改築事業の講演、歴史ある小田原城の天守閣の改築のめったに聞くことのできない内容の講演であった。

先輩同窓生たちは若手の同窓生の活躍をとっても誇りに思う瞬間であり、酪農学園の発展と同窓生たちの応援を再確認した総会であった。



サイゼリアでの懇親会

さてサブタイトルの東京2020を無料で観戦する裏技。

以下の種目タダで観れちゃうんです♥

◎陸上 マラソン

◎陸上 競歩

◎水泳 マラソン

◎トライアスロン

◎自転車

◎カヌー



パソコンで研究して観戦しましょう。

忘れちゃいけない同窓生の松本麻佑。バドミントンの世界選手権2連覇の松本麻佑（写真右）



／永原和可那は2019年9月29日現在世界ランキング1位。



TOKYO2020の最有力です。応援しましょう。

ひょっとしたら観戦できるかもしれません。

（早田 俊輔事務局長）

 **JSK人材** 酪農13期
 代表 そうだ しゅんすけ
早田 俊輔
〒224-0051 横浜市都筑区富士見が丘 28-13
 TEL 090(2325)4392 FAX 045(942)4758
 E-mail: ssoda5@mtv.ne.jp
 ss9114464@yahoo.co.jp
 有料職業紹介事業 14-ユ-300878

豪雨による災害について

2019年10月の台風15号・19号・21号により、関東・東北地区南岸に多大な被害が発生しました。被災された同窓生も多くいることと思います。その人たちに地区同窓会として少しでもお役に立てることはないかと考えております。ご意見・ご希望等々がありましたならば、岡田会長までご連絡ください。

2019年関東甲信越地区事業実績

開催日時	内 容	会 場
1月7日(月)14:00	事務打合せ	東京オフィス
3月15日(金)15:00	役員会	東京オフィス
4月12日(金)15:00	会計監査	東京オフィス
4月12日(金)15:30	事務打合せ	東京オフィス
6月7日(金)15:00	交流会	エキシブ箱根離宮 森めし
6月8日(土)12:30	総会(神奈川県支部共催)	伊勢原商工会
8月18日(日)15:00	事務打合せ	東京オフィス
9月12日(木)15:00	あるまめーと編集会議	東京オフィス
9月22日(日)14:00	臨時役員会	東京オフィス
10月24日(木)14:00	関係者によるオフィス整理	東京オフィス
10月30日(水)15:00	あるまめーと編集会議	東京オフィス
11月11日(月)15:00	事務打合せ	東京オフィス
12月7日(土)15:00	役員会・忘年会	上野地区

2019年支部別事業実績

支部名	開催日時	内 容	会 場
茨城県	2月16日(土)17:00	総会	ホテルグランド東雲
長野県	3月23日(土)14:00	総会	ホテル中村屋
東京都	5月10日(金)18:00	文化講座(マンドリン演奏会)	相模女大グリーンホール
埼玉県	6月1日(土)11:00	総会	さいたま市・別所沼会館
神奈川県	6月8日(土)12:00	総会(関東甲信越地区共催)	伊勢原商工会
千葉県	6月29日(土)14:00	総会	ホテルプラザ菜の花
東京都	6月30日(日)15:00	総会	東京オフィス
新潟県	7月27日(土)16:00	総会	新潟東映ホテル
埼玉県	10月5日(土)9:00	バス旅行 (信州ハム上田工場見学他)	長野県上田市
東京都	10月26日(土)13:00	文化講座(金子正美教授講演)	東京オフィス
山梨県	11月16日(土)11:00	総会	奥京
高等学校	11月17日(日)12:30	合同同窓会	東京オフィス
東京都	11月20日(水)15:00	文化講座(野田画伯鑑賞会)	東京都美術館

酪農学園同窓会関東甲信越地区 役員名簿

(任期 2018年4月～2021年3月)

役 職 名	氏 名	学科・卒業年	備 考
会 長	岡田 勉	酪農2期	同窓会副会長・千葉県支部顧問
副 会 長	後藤 久雄	機農農経1期	埼玉県支部顧問
	齊藤 達夫	酪農4期	栃木県支部事務局長
	唐仁原 景昭	獣医2期	千葉県支部顧問
	福山 二仁	獣医3期	東京都支部長
	大津 初司	短大16期	同窓会理事・群馬県支部副支部長
	田中 可子	三愛女子8期	東京都支部副支部長
	岩寺 信節	農経10期	神奈川県支部事務局長
事務局長	早田 俊輔	酪農13期	神奈川県支部副支部長
事務局長次長	渡會 福次郎	酪農3期	埼玉県支部事務局長・あるまめーと編集長
会 計	作田 昌彦	酪農17期	群馬県支部
理 事	益子 勲	酪農1期	栃木県支部長
	城近 泰	酪農7期	埼玉県支部理事
	小宮 俱子	獣医1期	神奈川県支部・あるまめーと編集員
	三田 孝幸	獣医6期	群馬県支部顧問
	平島 勝教	獣医7期	山梨県支部長
	北原 良一	獣医11期	新潟県支部長
	田中清司	獣医5期	長野県支部長
	満澤 恵治	機農農業21期	長野県支部副支部長
	小松 泰史	獣医14期	白樺会代表
	西井 義昭	短大13期	東京都支部副支部長
	上野 達	短大10期	茨城県支部
	齊藤 洋	農経5期	神奈川県支部顧問
	渡辺 仁	酪農21期	山梨県支部事務局長
	須田 利明	機農農経1期	東京都支部顧問
	高澤 靖	農経6期	千葉県支部理事・あるまめーと編集員
	佐々木 六朗	短大11期	埼玉県支部顧問
	中島 剛	酪農3期	東京都支部理事
	加藤 効示	農経15期	栃木県支部庶務・会計
	北条 博夫	獣医19期	長野県支部事務局長
	前田 享	獣医16期	茨城県支部事務局長
	高橋 善親	酪農10期	新潟県支部事務局長
	森 健	酪農6期	長野県支部副支部長
	横塚 元幸	機農酪農経営科	埼玉県支部副支部長・会計
	根本 久美子	獣医4期	茨城県支部長 同窓会支部代議員
	五十嵐 建夫	農経3期	東京都支部理事
	鈴木 邦夫	獣医11期	千葉県支部長
	田村 滋	酪農9期	神奈川県支部長
	小林 一太	短大20期	群馬県支部長
理事・監事	平岡 征雄	農経3期	神奈川県支部理事・顧問
顧 問	廣間 善之	酪農12期	埼玉県支部長・同窓会支部代議員
	野田 修平	短大6期	
	戸水 雅智	短大3期	
	平山 久	短大6期	
	北村 直人	獣医4期	
	藤村 翼	酪農2期	

酪農学園同窓会役員名簿

理 事	岡田 勉
	大津 初司
代議員	福山 二仁
	平島 勝教

編集後記

昨年7月に同窓会をこよなく愛し、積極的に活動された南雲良三さんが突然に亡くなりました。ビールが大好きで、それが原因のようで、半身不随となった時に“飲酒はほどほどに”と言っておりました。ご冥福をお祈りします。

2019年は同窓会関東甲信越地区の45周年ということで、顧問の戸水雅智さんに設立当初からのエピソードやご苦勞を寄稿いただきました。